

拓水

2月号
No. 257

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
〒652 神戸市兵庫区中ノ島2の2の1
発行人 兵庫県漁業協同組合

会長理事 山田岸松
TEL 681-6954~7
一部 10円

53年度水産予算 近年にない伸び率

昭和53年度水産予算概算決定額の概要総括表

(52.12.29)
水産

事項	52年度予算額 百万円	53年度概算 百万円	対前年度比 %
非 公 共	62,536	85,880	137.3
公 共	114,377	157,635	137.8
漁 港	93,991	131,375	139.8
沿岸漁場整備	7,540	13,350	177.1
海 岸	7,955	10,442	131.3
災害復旧等	4,891	2,468	50.5
一般会計合計	176,913	243,515	137.9
特別会計			
漁船再保険及漁業 共済保険特別会計	30,640	38,881	126.9
水産金融(融資枠)			
漁業近代化資金	億900	億1,000	111.1
農林漁業金融公庫 (水産枠)	億874.2	億979.8	112.1
沖繩振興開発金融 公庫	億23.5	億27.1	115.3
日本開発銀行 (水産枠)	億55	億55	100.0

沿岸漁場の整備強化

水産庁は一月四日、昭和五十二年水産予算の概算決定額を発表した。一般会計合計二千四百三十五億円で、前年対比三七・六%増となった。うち非公共八百五十九億円(三七・三%増)、公共千五百七十六億(三十七・八%増)で、我が国二〇〇海里水域内の開発を目指す「沿岸漁場整備事業」は、千三百三十五億円と七十七・一%の伸びを示した。また、水産業界の永年の懸案であった「水産省」設置への第一歩として「農林省」が「農林水産省」と改称され、水産行政の更なる拡充強化が図られることとなった。

昭和五十二年水産予算「多」という大巾な伸びを示し、概要総括表のとおりである。これは、二〇〇海里時(二二・九%増)となっており、我が国二〇〇海里水域内の開発を目指す「沿岸漁場整備事業」は、千三百三十五億円と七十七・一%の伸びを示した。また、水産業界の永年の懸案であった「水産省」設置への第一歩として「農林省」が「農林水産省」と改称され、水産行政の更なる拡充強化が図られることとなった。

水産行政の機構改革

二〇〇カイリ時代の急速な到来等我が国漁業をとりまく内外の諸情勢の著しい変化に対処し、水産物の安定供給と我が国漁業の発展を確保するため、水産行政の機構改革について次のとおり整備強化を図ることとする。

一、水産本庁については沿岸漁場の整備開発、増殖の推進等我が国周辺水域における漁業の振興を図るとともに、漁業外交の強力な展開を推進することを目的とし、次のとおり、機構の整備強化を図る。

①我が国周辺水域内の漁業の振興を所掌する「振興部」を新設し、同部は、沿岸漁場整備開発事業と栽培

が認められ、水産庁に一部二課が増設され、本庁で三〇名の増員の予定である。

また、漁港関係予算(一般会計)は、百七十六億円が計上されている。

②我が国周辺水域内の漁業の振興を所掌する「振興部」を新設し、同部は、沿岸漁場整備開発事業と栽培

総合開発調査を実施

沿岸漁場の整備開発

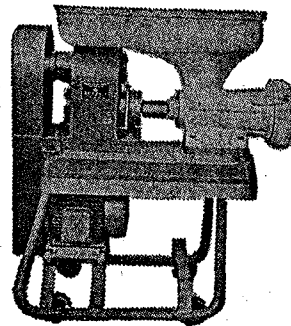
【趣旨】 開発調査の一環として海域の造成等いわゆる「畑づくり」の事業を実施することにより、水産動植物の増殖を推進する。

【事業内容】 魚礁設置事業、耐久性魚礁の造成、消波堤の設置、干潟等の造成、漁業施設の実用化、高知県沖合漁場に設置する養殖施設の実用化、これを用いたマグロの飼育試験(一、水産増殖総合化技術(海洋牧場技術)開発)

【事業の内容】 ①沖合漁場を利用する養殖施設の実用化 ②日本海域(石川県沖合漁場に設置する養殖施設の実用化)とこれを用いた飼育試験(フリ、タイ)の飼育試験

【事業の概要】 ①浮沈式生質の基礎実験 ②波力を利用した生質の浮沈方式についての基礎実験 ③浮魚礁技術の実用化(比較的水深の深い(七〇—一〇〇メートル)海域の

養魚の調餌と造粒は コウベヒラガのミートチヨッパーで



養魚用ミートチヨッパーA-32からA-72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

(御一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所 神戸市長田区水笠通5番5号
TEL 代表神戸(078) 921-1527

